

縄文の風

国宝土偶「縄文の女神」が生まれた、縄文時代や縄文文化などをシリーズで紹介していきます。

【縄文時代のイメージ】

これまでに縄文遺跡は3万カ所以上発見されていますが、遺跡数に基づいて人口を推算すると、旧石器時代の終わりには5,000人程度だった人口が、縄文時代のピークには30万人前後に達していることがわかります。

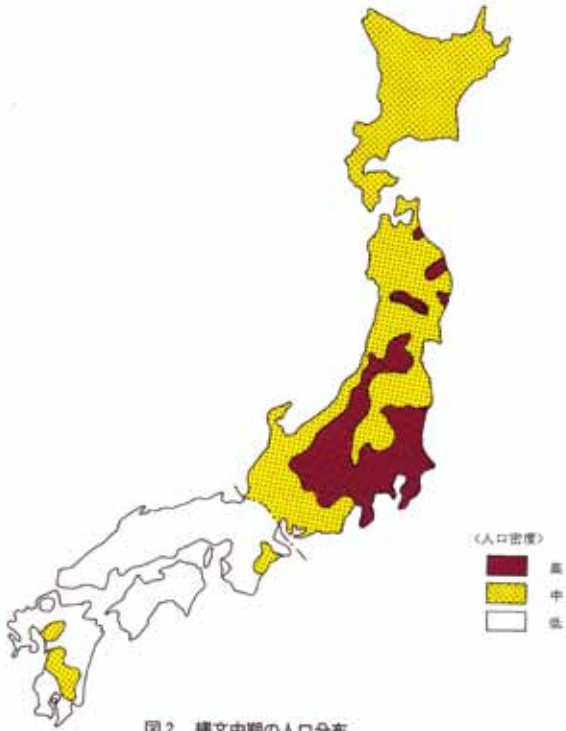
人口の分布は全国均一ではなく、東日本に集中していました。東日本の食資源が豊かで四季の変化に富んだ環境が、縄文人の生活形態に適していたのではないのでしょうか。

縄文Q&A?

Q. 寿命や平均身長は?

A. 15歳まで無事に育った人は、その後、平均で30歳ぐらいまで生きました。そのため、子どものうちに亡くなった人を合わせると、平均寿命はもっと下がると考えられます。

出土した人骨から、平均身長は大人の男性で160cmぐらい、女性はそれより10cmくらい低かったと言われています。



今月の縄文の女神

山形県立博物館の正面玄関に、木製の巨大な「縄文の女神」が登場しました。分館の教育資料館敷地内にあり、昨年伐採された推定樹齢約120年のモミの木を使用したものです。高さ2.6m、重さ約600kgで、大きさはオリジナルの5倍以上となります。この像は、ただ木材をかたどるだけでなく、焦げ目をつけるなどして、本物にある焼きむらや色合いを追求して作られました。



▼問い合わせ／
山形県立博物館
023(645)1111

～6月の主な行事予定～

- 3日 第3回人間ばん馬大会(鞍馬大会場)
- 6日 舟形町・大蔵村小学校陸上競技大会(大蔵中学校)
- 10日 第7回ヒストリックカーミーティングin舟形(アユパーク)
- 23・24日 地区中体連総体後期
- 24日 町消防ポンプ操法大会、ポンプ性能検査(アユパーク)
- 24日 「きれいな川で住みよいふるさと運動」河川清掃(町内各地)

5月18日、東北公益文科大学の学生と地域共創センターのコーデイネーターと一緒に、町内会ワークショップの研修会に参加しました。私自身ワークショップの経験がなかったため、話し合いの手法など勉強になりました。今後行われる町内会ワークショップで、みなさんとお話しする機会があると思いますので、その際はよろしくお願ひします。(なお)

P.S

あとがき
postscript

